

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

研究機関名： 弘前大学医学部附属病院

研究責任者： 横山 智士

当院では患者さんの試料・情報を利用させていただき、下記の臨床研究を弘前大学大学院医学研究科倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

本研究への協力を望まれない患者さんは、下記連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

臨床研究名称 腎移植ドナーおよびレシピエントにおける eGFRcys と実測 GFR の乖離要因に関する検討

研究の目的

本研究では、腎臓移植を受けた患者さんの「腎機能」をより正確に評価する方法を調べます。腎機能とは、腎臓が血液の中の不要な物質をどれくらいろ過できるかを示す働きのことです。現在は、血液検査で測る「クレアチニン」という物質をもとに腎機能を推定していますが、筋肉の量や薬の影響で、実際の腎機能とずれることがあります。そこで本研究では、腎機能を正確に測るために使われる「イヌリンクリアランス検査（入院時に行われる検査）」と、血液中の別の物質「シスタチン C」を使った腎機能の推定値を比較し、両者がどのように異なるか、どんな要因が影響しているかを調べます。この研究によって、今後の腎移植後の腎機能の見方や治療方針がより正確になることが期待されます。

研究実施期間 実施許可日 ～ 2028 年 3 月 31 日

対象となる方 2013 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日までの間に、弘前大学医学部附属病院において腎移植のドナーおよびレシピエントとなられた方

利用させていただきたい試料・情報について

当院のカルテに記録されている情報のうち、性別、年齢、身長、体重、病名、腎移植ドナー/レシピエント、腎移植日、検査歴（イヌリンクリアランス、SCr、SCys-C、WBC、Hb、PLT、CRP、Alb、Na、K、BUN、AST、ALT、 γ -GTP、T-Bil、尿酸、血糖、HbA1c、FT3、FT4、TSH）、服用薬剤について、標記研究のために利用します。

外部への試料・情報の提供

ございません。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合は下記へご連絡ください。患者さん／その代理人の方から、試料・情報の利用停止を求める申し出があった場合は、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先	弘前大学医学部附属病院 薬剤部
	氏名：横山 智士
	連絡先：0172-33-5111(内線：7896)、s-yokoyama@hirosaki-u.ac.jp

